

# J T U 埼玉高教組 ニュース

発行 埼玉高等学校教職員組合

〒330-0062

さいたま市浦和区仲町3-13-10

ヤギシタビル4F



NO. 648

教育復興に向けて支援の輪を広げよう！

TEL 048-823-4071

FAX 048-823-4072

Eメール saikojtu@maple.ocn.ne.jp

## 観点別評価始まる！～ある高校の場合～

観点別評価が始まったが、その内容はどうか？  
又、働き方改革に逆行するのでは？という意見も未だ根強い。今号では、学校での1学期の取組みを報告し、皆さんと一緒に考えていきたい。

### 【A高校の場合】

観点別評価が実際に始まった。昨年度の初めから研修を行ったり、教務が制度を整えてはいたが、全体の関心は低く、年度末の段階では、本当に来年からやるの？という雰囲気が職場に漂っていた。

今年度に入り、中間考査直前に、中間考査を観点別評価の試行と位置づけた検討案が急遽出された。観点別評価を意識した作問、考査実施、採点、評価、教科での検討、教科代表の情報交換会が矢継ぎ早に行われ、観点別評価を実際にやるんだという機運が高まってきた。

各教科とも知識・思考の評価はすんなりできたが、学びに向かう力の評価は、中間考査ということもあって、まだ出来ていないという教科がほとんどだった。仮にこれが学期末だったとしても、どう成績を付けるのかは、各教科とも悩ましい様子だった。学びに向かう態度は、余程のこと(例えば全休)がない限りC評価は付かず、したがって評定1はほぼあり得ないということが分かってきた。

今までどの教科も概ね6.5を評価平均の目安としてきたが、今回の評定では、教科ごとでばらつきが生じた。複数の教科で高めの成績となっており、評価評定のインフレが起きているようにも感じた。これが大学入試、特に指定校推薦に影響するであろうことが危惧される。評定平均値の算出に当たっては選択科目で評価が異なると、生徒への有利不利も懸念される。各校がどのように評定値を付けるのか、受け取る大学側も悩ましいであろう。

### 【B高校の場合】

新課程の1年生の成績を出す作業を行なっている

が、とにかく大変である。教員1年目のときにどうやって成績をだしたらよいのか苦労したことを思い出す。また成績の基準を決めることもさることながら、評価を校務支援システムに入力するのも面倒である。実際つけてみると各教科から聞こえてくる声は「成績に1が付かない」である。今までのように「出席」を評価の基準に加えると、極端な話、考査や提出物を出していなくても学校に来てさえいれば成績が付くようになってしまう。だからといって出席を評価の基準に加えないと、その代替とするものを考えなくてはならないが、十分に検討する時間はなかった。

観点別が始まることは前々から予告されていたが、それに対して十分に検討する時間は確保されていなかった。新しいことを始めるなら、既存の何かをやめて、十分に検討する時間を確保してからにしてほしいものであると痛いほど感じた。

### 【悩みは尽きない】

1学期、教科の評価に四苦八苦した様子がうかがえる報告であるが、その総括もままならない中、この夏休み中に実施された教育課程研究協議会総則部会で、指導要録、調査書の様式・記載事項の変更について改めて示されたことはご存じだろうか。具体的には「総合的な探究の時間の記録」と「特別活動の記録」に観点別評価を取り入れるというものである。教科の評価・評定にばかり気を取られていたが、今後は総探、特別活動それぞれについて、三観点に基づき評価の観点を作成し、それに照らして、評価を文章で記述したり、○印をつけたりといった作業を行わなければならない。指導要領改訂の当初から予定されていたこととはいえ、作業量が増えることが予想され、これまで盛んに言われていた「評価疲れしないように」ということと相反する内容で、働き方改革に逆行する虞がある。この問題をどう乗り切るのか、現場の悩みはまだまだ尽きそうにない。

# 関東地区では埼玉だけが保護者負担！

～エアコンの保護者負担を早期に県費負担に改めよ～

## 関東地区のエアコン状況調査結果

私たち埼玉高教組本部はこの夏、エアコンの保護者負担についての状況を調査した。日教組及び日高教に加盟する関東1都6県の5単組(2県は高校の組織がない)のエアコン設置状況については以下の通りである。

◆東京都→5～6年前から公費で負担。それ以前はエアコンのある学校と無い学校があったが、ある学校も保護者負担は無かった。

◆神奈川県→以前、高校独自でつけていた頃は保護者負担があったが、エアコンが県に移管してからは公費で負担されるようになった

◆千葉県→2018年までは保護者負担だったが、2019年からは全校の教室への設置が完了し、県費負担になった。しかし、教室以外に入っていない、職員室に入っていない学校が30～40校ほどあるとのこと。

◆栃木県→5～6年前に全校の教室にエアコンが設置され、県が予算化するようになった。それ以前は進学校を中心に保護者負担での設置が見られた。

◆埼玉県→職員室・事務室・保健室などに最初に設置され、その後、保護者負担を前提に教室にエアコンが設置された。教室以外の特別教室などは学校によって設置状況は様々である。教室のエアコン等についての費用は保護者負担が基本。

### 保護者負担は埼玉だけ

調査の結果は明白である。つまり、埼玉だけが未だに保護者負担を強いているのである。

ある県の担当者は「うちにはそもそも保護者負担という考え方が無い。公立高校なんだから、施設設備の費用を公費で負担するのは当たり前」という声も聞かれた。何でもかんでも保護者負担で作り上げてしまう埼玉県から見たら、まるで別世界のような話

に聞こえた。

### 県教委はどのように考えているのか？

ここ数年、クジラ本部では、ことあるごとに県教委担当者に「エアコン費用の公費負担」を訴え続けてきたのは、関東近辺で公費負担が進んでいることもある。県教委財務課も「予算が付けば」と返答するが、そこをもっと頑張って欲しいし、県議会でも話題にはなっていたが、この事態を動かすためには教育予算全体を統括する立場からの英断が欲しい。つまり、知事の政治的判断あるいは県議会の総意でエアコンの公費負担を実現してほしい。埼玉県の公立高校に対する予算増額を認め、エアコンの保護者負担依存というお粗末な状況を改善して欲しい。

### これでは公立の倍率が下がって当たり前！

各学校では夏休みから2学期にかけて体験入学や学校説明会などのPR合戦が盛んに行われているが、エアコンの保護者負担に見られるように、公立高校に対して、保護者負担が前提であるとすれば、公立なのか私立なのか分からない。私立に対する補助が拡充している昨今ならば、公立よりも私立を選んで当然だろう。他県では当たり前のように公費で負担されているのに、埼玉県では保護者負担。この事実をもし中学校3年生の保護者が知ったら、進んで公立高校を選ぶだろうか？

### 保護者負担を見直さないと公立は潰れる

県教委は昨今の公立高校の倍率低下を憂いているようだが、公立高校の魅力を上げようと思うなら、何よりも保護者負担を限りなくゼロにすることだ。

来年からは一人一台のタブレット端末の話も持ち上がっているが、何でもかんでも「保護者負担させておけばいい！」という発想を転換しない限り、公立高校に未来は無い。倍率向上の責任を各学校に転嫁せず、まずは県教委が考え方を改め、保護者負担を見直す姿勢を早急に示して欲しい。

**埼玉教育研究集会(県教研)10月23日日曜日**

**国立女性教育会館(又エック) 10時～**

**午前:記念講演(藤田孝典氏 反貧困ネットワーク埼玉代表) 午後:分科会**